

## 白石川堤一目千本桜(大河原町・柴田町)

白石川堤に咲き乱れる、100年以上も前に植樹されたソメイヨシノを中心とした桜並木「一目千本桜」。ソメイヨシノをはじめ約1,200本の桜並木が続く。毎年4月上旬から中旬頃には、県内外より多くの観光客が訪れる。※桜絶景スポット「葦神堰」は改修工事のため、架台が設置されています。付近に近付けませんのでご了承ください。

4月上旬～中旬



4月上旬～中旬



### しばた桜まつり (柴田町)

船岡城址公園には約1300本のソメイヨシノが咲き、白石川堤一目千本桜、太陽の村、陸上自衛隊船岡駐屯地を含めた「柴田の四大桜」は必見。

4月上旬～中旬



### 白石城桜まつり (白石市)

伊達家の重臣の片倉小十郎が居城とした「白石城」に約200本を超える桜が咲き誇り、毎年大勢の花見客でにぎわう。幻想的なライトアップの夜桜も楽しめる。

4月第3日曜



### 第75回東北鞍馬競技大会(涌谷町)

自馬の力を競うことを目的とした歴史ある大会。最大975kgの重量をのせたソリを引き、人馬一体となった競技に観衆からは大きな歓声と拍手が起こる。

4月中旬～下旬



### 大衡城跡公園 (大衡村)

大衡城跡公園は桜の名所として親しまれ、船形山を見渡せる絶景スポットとなっている。

3月中旬～5月下旬



### 国営みちのく杜の湖畔公園 (川崎町)

東北地方の風土と文化に触れ合える東北唯一の国営公園。7,000㎡の「彩のひろば」の大花壇では、季節ごとに多様な花々が花壇を彩る。春は桜のほか、チューリップや菜の花、パンジー・ビオラなどが美しく咲き誇る。

4月上旬～下旬



### かくだ菜の花まつり (角田市)

蔵王連峰をバックにして、阿武隈川河川敷に250万本の黄色い花が咲き誇る。雄大な残雪の蔵王と青空、菜の花の黄色の美しいコントラストは必見。

通年



### 阿武隈ライン舟下り (丸森町)

阿武隈川を屋形船に乗ってゆったりと下りながら、舟運の歴史を伝える舟下り。一帯は県立自然公園となっており、峡谷に名勝・奇岩などの見所も多い。四季折々の雄大な景色を堪能することができる。

みやぎの  
四季風物詩

夏  
Summer



### 仙台七夕まつり(仙台市)

見どころは、なんといっても豪華絢爛な笹飾り。吹き流しなど、趣向を凝らした笹飾りが仙台市街を埋め尽くす。

8月6日~8日



7月下旬~8月下旬

### 伊豆沼・内沼はすまつり(栗原市・登米市)

夏の伊豆沼・内沼は湖面いっぱいにハスの花が咲き誇り、遊覧船に乗って、間近でその美しいハスを眺めることができる。※乗船時はライフジャケットの着用が義務付けられています。



6月中旬~下旬

### 多賀城跡あやめまつり(多賀城市)

国の特別史跡「多賀城跡」の約2万1千㎡に及び広大なあやめ園に咲く、800種300万本ものあやめや花菖蒲の中で優雅な時を過ごすことができる。



8月第1日曜日とその前日

### 気仙沼みなとまつり(気仙沼市)

航海の安全と大漁を祈願する気仙沼地方最大級の夏祭り。「はまらいんや踊り」、「打ちばやし大競演」、「うんづら」、「海上打ち上げ花火」などのイベントが盛りだくさん。



8月中旬

### なとり夏まつり(名取市)

震災の鎮魂と復興に向けた支援の感謝、未来への希望を込め、名取市関上地区で開催。関上太鼓や各種イベント、壮大な花火約10,000発が打ち上がる。打上げ花火は大曲と地元元花火師の競演、全国の尺玉も楽しめる。



海の日

### 塩竈みなと祭(塩竈市)

御神輿を奉安した二隻の御座船が、約80隻に及び大小の供奉船(ぐぶせん)を従えて松島湾内を巡幸する神輿海上渡御が見どころ。日本三大船祭りのひとつにも数えられている。

## 鳴子峡(大崎市)

大谷川が刻んだ深さ100mにおよぶ大峡谷。紅葉の時期には、峡谷が鮮やかな赤や黄に彩られ、大深沢橋からの眺めはまさに絶景。峡谷沿いには自然遊歩道も整備されている。

10月下旬~11月中旬



9月下旬~10月中旬



### 栗駒山の紅葉(栗原市)

栗駒山は、宮城、秋田、岩手の3県にまたがる秀峰で、山頂からは蔵王連峰や太平洋が一望できる絶景地。紅葉の時期には、ナナカマドの赤とカエデの黄色、ハイマツの緑色が相まった見事な風景を楽しめる。

9月下旬~10月中旬



### 蔵王エコーライン(蔵王町)

大きな赤い鳥居が蔵王エコーラインの入口。紅葉の季節になるとカエデやブナ、ナラが赤や黄色に染まり、ドライブしながら秋の蔵王を堪能できます。全長約18kmにわたる紅葉は見応えあり。

10月中旬~11月中旬



### 長老湖(七ヶ宿町)

青く澄んだ湖面に不忘山の山容を映し出す長老湖。周囲にはブナ、ナラ、カエデの木々が生い茂り、秋は錦秋の絨毯が敷かれた絵本のような景色がみられる。湖畔の遊歩道を散策しながらの紅葉観賞は格別。

10月下旬~11月上旬



### 船形山(大和町)

宮城と山形の県境に位置する船形連峰の主峰。日本二百名山の一つにも数えられ、別名を御所山という。紅葉の見ごろを迎えると、赤や黄色に色づいたカエデやブナなどによって、山肌が美しく彩られる。

10月~11月頃



### アキウルミナ(仙台市)

仙台の奥座敷・秋保の魅力を再発見する地域連携事業「アキウルミナ-AKIULUMINA-」。“光”のインスタレーションスポットを周遊しながら楽しむイベント「光のもり」を実施。11月からはアートに浸るイベント「AKIULUMINART」が開催される。

9月または10月(中秋の名月頃)



### 月の松島in観瀾亭(松島町)

中秋の名月には、伊達家の納涼観月の亭として「月見御殿」と呼ばれていた「観瀾亭」でお月見会を開催。月の光がさざ波にきらめく美しい松島湾を楽しめる。

10月中旬



### おながわ秋の収穫祭(女川町)

全国有数の水揚げ量を誇る秋刀魚を始め、秋の味覚を楽しむイベント。キッズコーナーやステージイベント等も予定している。

10月スポーツの日の前日と前々日



### 仙台みちのくYOSAKOIまつり(仙台市)

市内中心部をはじめ市内数ヶ所の会場で、エネルギーあふれる躍りを披露。衣装や振付けは自由。音楽もジャンルの制限はなく、躍動感あふれる独創的な雰囲気観客を魅了する。

みやぎの四季風物詩  
冬  
Winter



**SENDAI光のページェント(仙台市)**

定禅寺通のケヤキ並木が彩られ、幻想的な世界をつくりだす仙台の冬の風物詩。点灯する光が一度消え、一斉に再点灯する「スターライト・ウインク」など、多彩なイベントも満載。

12月上旬~下旬

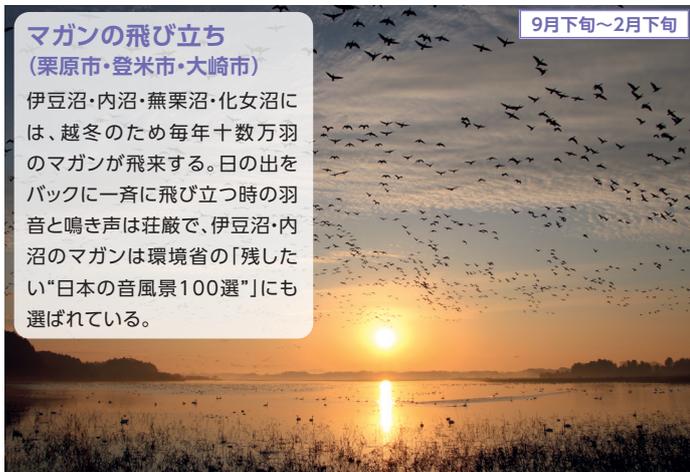
画像提供：SENDAI光のページェント実行委員会

**マガンの飛び立ち**

(栗原市・登米市・大崎市)

伊豆沼・内沼・蕪栗沼・化女沼には、越冬のため毎年十数万羽のマガンが飛来する。日の出をバックに一斉に飛び立つ時の羽音と鳴き声は狂騒で、伊豆沼・内沼のマガンは環境省の「残したい“日本の音風景100選”」にも選ばれている。

9月下旬~2月下旬



12月上旬~1月中旬



**ONE-LINE気仙沼イルミネーション(気仙沼市)**

気仙沼湾の冬を彩るイルミネーションプロジェクト。市内内湾地区の海岸線を光の線で結ぶほか、市内各所でもイルミネーションが行われ、復興へのさらなる思いを込めた明かりが灯る。

12月上旬~下旬



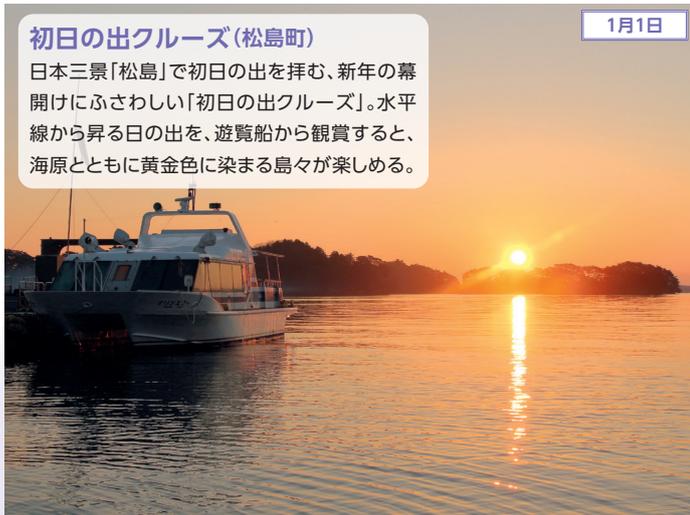
**コダナリエ(山元町)**

東日本大震災の翌年から毎年開かれる、山元町の冬の風物詩「コダナリエ」。「訪れた人を笑顔に」という思いを込めて、地域の人々が手作りして届ける温かみあふれるイルミネーションイベント。

**初日の出クルーズ(松島町)**

日本三景「松島」で初日の出を拝む、新年の幕開けにふさわしい「初日の出クルーズ」。水平線から昇る日の出を、遊覧船から観賞すると、海原とともに黄金色に染まる島々が楽しめる。

1月1日



**みやぎ蔵王樹氷めぐり(蔵王町)**

別名「スノーモンスター」とも言われる神秘的な樹氷を、暖房付き雪上車に乗って間近で見学することができる。

12月下旬~3月上旬

